

行事予定表	
1	日
2	月 交通安全教室
3	火 豆まき
4	水 ビヨビヨ
5	木 にじくみ保育参観
6	金 ひかりくみ保育参観
7	土
8	日
9	月 ふたばっこ演奏会(だいちくみ)
10	火 ほしくみ保育参観/巡回相談
11	水 建国記念の日
12	木 カレーの日⑦
13	金 だいちくみ保育参観
14	土
15	日
16	月 ふたばっこ演奏会(たいようくみ・そらくみ)
17	火 きりんグループ保育参観
18	水 おべんとうデー
19	木 そうグループ保育参観
20	金
21	土
22	日
23	月 天皇誕生日
24	火 通報訓練
25	水
26	木 誕生会
27	金
28	土

毎週月曜日は、ホールに全園児が集まり、みんなで体を動かす時間を設けています。この時間はいわゆる「体育」の様な運動ではなく、音楽に合わせて体と心でリズムを感じたり、友だちや先生と触れ合いながら楽しむ「遊び」を大切にしています。今、子どもたちのお気に入りには「オニのパンツ」。「♪はこうくはこうくオニのパンツ♪」のことで、自分のお尻をタッチしながらジャンプしてぐるっと回る動きが、子ども達のブームになり、笑顔が溢れています。また、「あんたがたどこさ♪」にもチャレンジしています。歌詞の「さ」で自分の頭をタッチし、それ以外は手拍子。慣れてきた子は「さ」でタッチする場所を変えてみたりと、少しずつレベルアップしています。うまくいかなかったも「もう一回！」と再挑戦。1回目よりも2回目、2回目よりも3回目と繰り返す中で楽しさが広がり、みんなで共有することでその喜びは何倍にもなっている様です。ここで改めて感じるのは「繰り返し」の大切さです。

ただし、そこに楽しさがなくては繰り返しは生まれません。「できるようになりたい」「もう一回やりたい」という気持ちがあるからこそ、子どもたちは自然と挑戦を重ねていきます。これは「楽しくなければ保育園ではない」という本園の理念にも通じるものです。楽しいと感じる気持ち、できる様になりたいと挑む気持ちを、園生活の中で大きく育てていけるよう、今後子どもたちにも繰り返し関わっていききたいと思っています。

園長 沖本 恭大

今月の予定から・・・

●交通安全教室(2日)
 ・今回も4、5歳児での参加になります。ご家庭でもどのような内容だったかお子さんに聞いてみてくださいね。

●豆まき(3日)

・今年も節分に鬼がやってくるのでしょうか。そして子どもたちはやってくる鬼と自分の心の中の鬼を退治することができるのでしょうか？どうぞお楽しみに。

※当日は豆ではなく小さく丸めた新聞紙などを鬼に投げつけて退治します。(誤嚥・窒息防止のため)

●保育参観について

・保育参観については、以前の配信配布にて日時等をお知らせいたしております。今一度ご確認ください。1年の成長が見られます様に・・・

●ピヨピヨひろば(4日)

・地域の子育て支援「ピヨピヨひろば」として、月1回設定保育を実施しています。園開放も行っていきますので育休中の方もどうぞ遊びに来て下さい。

●ふたばっこ演奏会(9・16日)

・だいちくみ、きりんグループ、ぞうグループの子どもたちが合奏を楽しんでいます。その様子を園全体で見せ合うことでお互いに良い刺激になると願っています。

●カレーの日⑦(12日)

・それぞれの役割に分かれてこの日はカレー作りなどを楽しみます。今月も美味しいカレーを作ってみなで食べますよ。

●おべんとうデー(18日)

・いつもお弁当のご用意をありがとうございます。子どもたちも毎回楽しみにしています。

●通報訓練(24日)

・地震や火事になった時の練習を毎月行っています。今月も万が一に備え取り組んでいきたいと思えます。

●誕生会(26日)

・1年に1回誕生会にとって大切な日を「おめでとう！」と心からお祝いします。
 ※誕生児の保護者の方は誕生会の見学が可能ですので、ご希望の方は、お知らせ下さい。

K君・三歳児の教え(養生訓)

いつも元気に走り回っているK君、活動的で、言葉もハキハキとしている。体も大きい。K君は三歳。子ども達と鬼ごっこをすると、みんなで私を狙ってくるので、子ども達より動かなければならないのである。私が、「疲れた、もう降参、カインベンして、少しやすませて」と言う、「ダメ、疲れてはダメ」と言う。「もう年だし、オジサンなんだから疲れるよ、少し休ませて。」と言うと「オジサンなんかじゃない」と言って攻められた。そして、また私が逃げ出すとK君は最後まで、しつこく追いかけてくる。K君に捕まり、「なんでK君は、そんなに元気で大きいの？」と尋ねると、「あのね、いっぱい食

べていっぱい寝るからだよ。エンチョーゴリラもいっぱい食べていっぱい寝ると大きくなるよ。だから、いっぱい食べていっぱい寝ないとだめだよ」と教えられた。「食う、寝る、遊ぶ」というのが、順番から言うと、子どもは「よく遊び、よく食べ、良く寝る」のが大切である。▼最近、夜型の子どもの多くなり、朝起きられなくなり、朝食抜きの子も多いという。そこで、「早寝、早起き、朝ごはん」となっているようだ。「早寝、早起き、朝ごはん」では消極的である。前提が抜けている。ゲームや電子機器をピコピコやっていたのでは、目ばかりさえて、熟睡できないのではないのか。早起きできないから、朝ごはんも食べなくなる。まずは、身体を動かして、いっぱい遊ばせればお腹をすかす。だから、よく食べそしてよく眠ることができる。▼K君の教えは、子どもだけでなく、老若男女、全ての人に言えることだと思える。幸せな生活とは、健康で、明るく、元気に生活すること。どこかが悪いと、暗くなる。人は何より健康であることが第一である。お金があっても地位があっても、健康でなければ、意味がない。幸せじゃない。健康でなければ楽しく遊べないし、何を食べてもおいしくない。大人であれば、よく遊びは、よく働き、よく動き、何でもおいしく食べられ、何の心配もなく、よく寝て朝スッキリと起きることが、幸せの第一である。「エンチョーゴリラも」K君の教えどおり、いっぱい寝て、大きくはならないだろうけど、良く遊び、よく働き、よく食べ、グツスリと寝て、毎日楽しく暮らしている。

理事長 浅田 精利